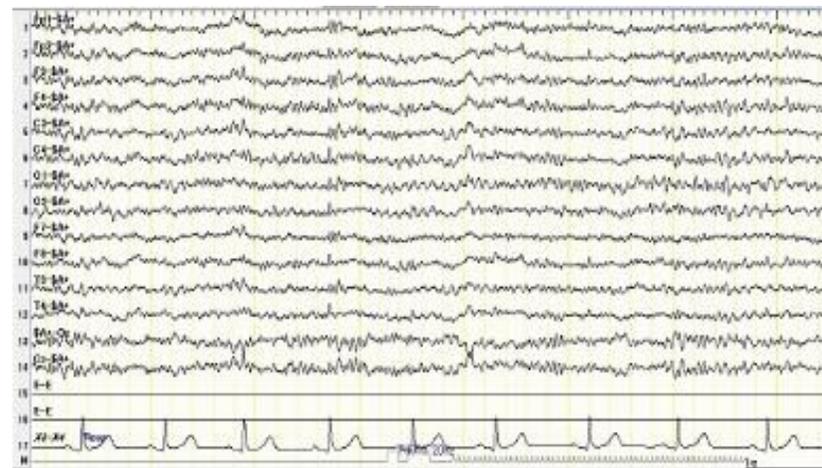


# 脳波検査



## 脳波とは？

脳は活動している時に、常に小さな電気を発生させています。それが頭の表皮上でわずかな電位差となってあらわれます。その電気を、頭に付けた電極で記録し波形としてあらわしたものが脳波です。脳の電気はものすごく小さいので増幅器で大きくしてから波形として記録しています。



脳波波形

## 脳波検査とは？

脳波検査は頭の上にたくさんの電極を付けて、脳の総合的な機能状態を脳波の変化として記録する検査です。医師の指示で賦活脳波をとることもあります。賦活脳波は、開閉眼テスト、光刺激テスト、過呼吸テストがあり、脳に刺激を与えて異常波を誘発します。



脳波計

## 検査の様子

椅子に座った状態で電極を付け、ベッドに横になっていただきます。眼を閉じた状態で記録します。脳から出ている電気を記録するだけなので、痛みを感じる事はありません。

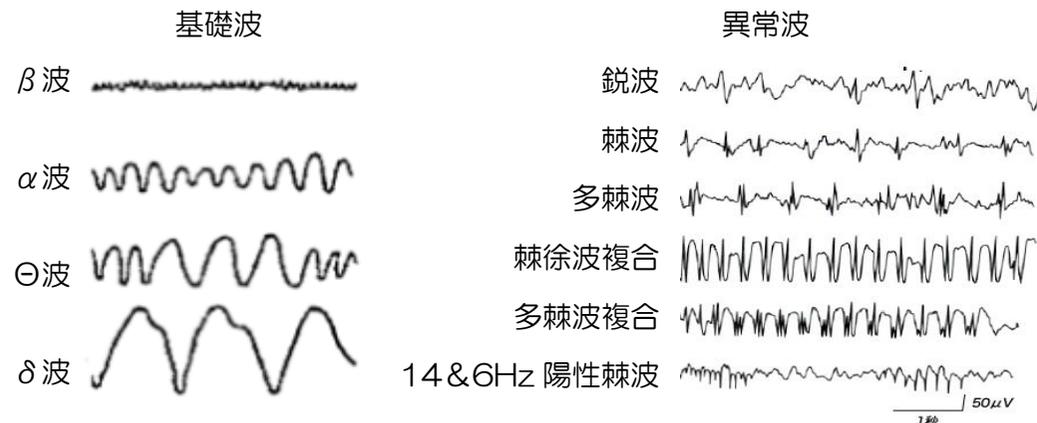


賦活脳波：光刺激

## 脳波検査でわかること

脳の活動状態が分かりますが、頭の良さや考えていることは分かりません。脳波検査は脳に異常を疑う時に行いますが、最近ではてんかんを疑うときに行うことがほとんどです。

脳波の波形は短い方から、 $\beta$  (ベータ) 波、 $\alpha$  (アルファ) 波、 $\theta$  (シータ) 波、 $\delta$  (デルタ) 波の4つに分類されます。



## てんかんとは？

てんかんとは、脳の細胞が通常とは異なる活動をすることで引き起こされる病気です。症状の出方はさまざま、全身をふるわせて手足をバタバタさせるタイプや意識がぼーっとしていても話ができるタイプなどがあります。てんかんは、けっしてまれなものではなく、特に子供と65歳以上の高齢者に多い病気です。

てんかんはお薬で発作のコントロールができます。正確に発作型を評価したうえで、てんかん薬のなかからもっとも適切な治療薬が選択されます。単剤では発作をコントロールできないことがあり、複数の薬を併用することもあります。

## 頭部のその他の検査

OCT：脳出血や脳梗塞はないか

OMRI：脳梗塞や脳出血はないか、

OMRA：脳内の血管に細くなったり、詰まっているところはないか

OR I (脳血流シンチ)：脳内の血流が滞っていないか

